

診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第 33 号／令和 6 年 6 月

URL <https://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

中小企業の振興に貢献するために

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田正憲



5月25日に開催された定時社員総会ならびに理事会を経て会長に再任されました。よろしくお願ひ申し上げます。

当協会は中小企業の振興と国民経済の健全な発展の貢献することを目的としています。この目的を実現するために、今年度は以下の基本方針と事業計画に取り組んでまいります。

○基本方針

- (1) 会員の協会活動への参加と交流を促進する
- (2) 会員の資質の向上を図る
- (3) 中小企業診断士制度の普及と推進を図る
- (4) 官公庁その他関係団体及び諸機関との連携を強化し、事業の受託拡大を図る
- (5) 会員のコンプライアンス意識の向上と徹底を図る

○事業計画

(1) 交流事業

- ・ 「中小企業診断士の日」のイベント、新年会等を開催し、官公庁、諸機関、その他関係団体及び会員相互の交流と連携強化を図ります。

- ・ 青年部会活動により入会間もない会員の協会活動への参加を促します。

(2) 研修事業

- ・ 理論政策更新研修のほか、会員の資質向上を図るための研修を開催します。
- ・ コンプライアンス研修の受講促進を通じて会員のコンプライアンス意識の向上と徹底を図ります。

(3) 広報事業

- ・ 広報誌、ホームページ、プレス等の活用により、協会活動に関する情報を広く発信します。
- ・ 中小企業診断士試験の受験者等を対象にした事業の実施により中小企業診断士制度の普及と推進を図ります。

(4) 事業開発事業

- ・ 専門家派遣事業等の受託業務を円滑に運営します。
- ・ 「中小企業診断士の日」のイベントを開催し、中小企業診断士制度の普及と推進を図るとともに、官公庁その他関係団体及び諸機関との交流と連携強化を図ります。
- ・ 専門家集団という当協会の特長を生かし、新規業務の受託拡大を図ります。

(5) その他

- ・ 会員の実務ポイント獲得の機会を提供します。
- ・ kintone の活用により協会業務の効率化を図ります。

「資金繰り」から「事業再生」に企業支援の軸足が移る一方、「中堅元年」の支援が国から示されました。目まぐるしく変化する経営環境の中、社会ニーズの要請に応えられる協会を目指します。

理事紹介

理事・副会長 近藤信



このたび副会長を拝命した近藤です。私が診断士協会にお世話になりはや23年、私自身もいつのまにか51歳になりました。私の入会当時は白山会館で年次総会を開催してお

り、初夏の会場で諸先輩に息子のように可愛がっていただいたことを鮮明に覚えております。いまの私は、診断士の資格を取得したからこそ尊敬できる仲間に出会いやりがいのある仕事に恵まれたと心より感謝しております。私のように診断士協会にロイヤルティを感じてくれる診断士が一人でも多く増えるように副会長として組織を盛り立ててまいる所存です。

会員の皆様、関係各所の方々、今後も協会事業・運営に変わらぬご協力をいただけますよう何卒よろしくお願いいたします。

理事・副会長 上村修



今年度も、昨年度に引き続き副会長として協会運営に携わることになりました上村修です。

主に、他士業と当協会の連携に関する活動を担当いたします。

昨今、経営課題が複雑化、高度化する中で、法務、税務、会計、労務など他専門分野の士業との連携が中小企業支援で重要になってきています。

士業連携の様々な活動に参加していくことで、当協会と他士業との関係強化と人的ネットワーク構築を図ってまいります。

また、土田会長の補佐役として、当協会の発展のために微力ながら貢献していきたいと考えております。

皆様、よろしくお願いいたします。

専務理事 平野康晴



このたび、専務理事を拝命した平野康晴です。2期目の専務理事職となりますが、引き続き協会運営を担わせていただくこととなり、改めてその責任の重さを痛感しております。会員の皆様、地域の中

小企業の皆様、支援機関の皆様の期待に応えるべく全身全霊で協会運営にあたる所存でございます。

さて、中小企業診断士の総数の拡大という国の方針を受け、中小企業診断士の合格者数は増加しております。当協会においても入会者が増え、会員数100名に迫る大所帯となっています。会員の皆様方にベネフィットを提供できるよう、会員向けコンテンツを充実させていかなければならないと考えております。

会員の皆様とともに、良い協会、良い診断士を創っていきたくと想いを新たにしております。

事務局長 土田克則



事務局長の土田克則です。引き続き事務局長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

2年前にこんなことを書いていました。「自分では、若手のつもりでしたが、いつのまにか診断士になってから12年も経過し、年齢も50歳となりました。私のイメージでは、事務局長は若手がやるべき役職だと思っておりませんので、2年後にはめでたく、誰かに引継げるよう頑張りたいと思います。」

今回は引継げませんでした。協会ではkintoneが導入され、DXパワハラを感じておりますので、そろそろいいタイミングだと思っております。最後の2年間、よろしくお願いいたします。

理事・広報委員会 委員長 長谷川貴一



本年度より初めて広報委員会の委員長を担当することになりました。広報委員会では、年3回程発行している広報誌の制作、協会ホームページの管理、中小企業診断士を目指す人向け

のサロン会の開催を主に担当します。本年度は、長年運用してきた広報誌とホームページをより良いものにすべく、内容変更や発行先の再検討等、各種プロモーション媒体のリニューアルに向け準備を進めていく予定です。広報委員会に所属していただく会員は、初めて広報委員会に所属する方が多いため、新しい要素を取り入れながらも、協会活動を広く発信するために協力しながら活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事・広報委員会担当 阿部哲也



前期に引き続き理事を拝命いたしました阿部哲也です。

今年度から広報委員会担当となりました。当協会の活動や中小企業診断士の魅力の発信に積極的に努めてまいります。

また、中小企業診断士を目指している方向けに情報交換の場を提供しておりますので、ご興味のある方は是非ともお声がけ下さい。

日頃お世話になっている金融機関、支援機関、および中小企業診断士の皆様、そして新潟の中小企業のために尽力していく所存ですので、今後とも引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

理事・広報委員会担当 市川明弘



今年度から広報委員会担当理事に就任いたしました市川明弘と申します。広報委員会では、ホームページの運営や広報誌の発行、診断士を目指す人の情報交換サロンの企画運営などを行って参ります。

広報は、当協会と関係者の皆様との架け橋の役割を担う重要な活動と認識しております。広報媒体も多様化していますので、より効果的な情報発信の方法についてしっかりと考えていきたいと思っております。

これから、微力ではございますが、協会広報活動の推進のために最善を尽くし、関係者の皆様に有益な情報を適時適切に発信することで地域経済に貢献し、地方創生の一助となれるよう誠実に努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

理事・研修委員会 委員長 小山直久



このたび、研修委員長を拝命しました小山直久です。研修委員会の活動を通じて、当協会及び新潟県の中小企業の発展に会員の皆様方とともに尽力して参ります。

本年度の研修委員会は、以下の3つに重点を置き活動いたします。

- ① 理論政策更新研修（新潟会場）の企画・運営
- ② 会員の資質向上を図るための研修実施
「会員向けセミナー」の企画運営

- ③ コンプライアンス遵守のための取り組み

会員の皆様には研修委員会の活動に積極的にご参加いただくとともに、ご意見ご要望を賜り、より良き委員会運営に努めていく所存です。

皆様方、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事・研修委員会担当 島田達人



このたび、新たに理事に就任いたしました島田達人と申します。県協会には2023年1月に入会したばかりで、甚だ僭越ではございますが、私にとって新たな挑戦の機会を頂けた新潟の地に多少なりとも貢献できればと思ひ、理事に立候補いたしました。

現在、高等教育機関において学部生教育に従事しておりますが、本協会でも研修委員会担当として理論政策更新研修やセミナーの企画・運営に携わってまいります。

皆様方の知識のアップデートやスキルアップに資する機会を提供することにお役に立てればと存じます。ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

皆様方の知識のアップデートやスキルアップに資する機会を提供することにお役に立てればと存じます。ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

事業開発担当理事 山崎寛和



今年度より、新たに事業開発担当理事を拝命いたしました、山崎寛和です。事業開発担当は、外部機関との連携を通じて協会の事業開発を行い、円滑な運営および事業の発展という役割を担っております。

また、協会会員にとっては事業に参画することで自身のスキルを磨き、成長できる機会を提供しています。今年度は外部機関の皆様との連携をより一層強化して、新たな機会創出を目指していく方針です。和栗事業開発担当理事と共にこの務めを果たしていく所存です。

新しいことにチャレンジすること、チャレンジする方を支援することが好きです。関わる全ての皆様がやって良かったと思える成果を残せるよう取り組んで参ります。

今後ともよろしく願ひいたします。

事業開発担当理事 和栗聖



本年度から事業開発担当理事を務めさせていただきます和栗聖と申します。

昨年度まで事業開発委員長を8年間務めさせていただき、本年度より事業開発担当理事ということで、事業開発委員会所属理事の期間を含めると、11年前の理事就任から一貫して事業開発に携わっており、気づけば40歳代後半戦に突入してしまいました。引き続き、協会として事業の受託拡大を図ることを通じて、中小企業の振興に貢献していきたいと思ひます。また、各種事業を通じて、協会会員同士の交流やスキルアップの場を提供していきたいと思ひます。

本年度から事業開発担当理事を務めさせていただきます和栗聖と申します。昨年度まで事業開発委員長を8年間務めさせていただき、本年度より事業開発担当理事ということで、事業開発委員会所属理事の期間を含めると、11年前の理事就任から一貫して事業開発に携わっており、気づけば40歳代後半戦に突入してしまいました。引き続き、協会として事業の受託拡大を図ることを通じて、中小企業の振興に貢献していきたいと思ひます。また、各種事業を通じて、協会会員同士の交流やスキルアップの場を提供していきたいと思ひます。

総務担当理事 岡田正博



こんにちは。このたび理事に選んでいただいた岡田と申します。年齢相応の落ち着きを持たず、自分では若いと思いながらもいつの間にかいい年齢になり、周囲にはロサンゼルスオリンピックやライブエイドの話が通じる人が少なくなりました（という私自身、その頃は小学生だったのであまり覚えていませんが）。

組織変更があり、今年度から総務担当理事という位置付けとなりました。バックヤード的な役割ですが中小企業診断士協会の発展と会員の拡大に尽力したいと思ひます。

監事紹介

総務担当理事 田邊直樹



この度、総務担当理事を拝命いたしました田邊直樹と申します。社員総会や講演会の運営、ならびに協会内のkintone 運営を担当させていただきます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨今、緊急性を要する収益力改善支援、事業再生支援、廃業支援などの相談が増加しております。また、補助金を活用した新事業の不振とった相談も多く寄せられています。総務担当理事として、企画する各種催しを通じて、会員様との情報共有を一層活性化させ、新潟県の中小企業の振興に貢献できるよう努めます。引き続きのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

監事 辰喜太輔



4期目の監事を拝命することとなりました。監事としての期間も自分自身、正直長くなってきたと感じてきました。私が中小企業診断士として登録したのが2005年3月、来年で20年を迎えることとなります。協会に入会した当初は、まだ新潟県中小企業診断協会という任意団体でした。そして多くの先輩診断士に囲まれ、研究会等で多くの勉強をさせてもらう機会を与てもらいました。その後、当協会は一般社団法人化を果たし、今日に至っています。この約20年を振り返れば、協会会員であったことで、より多くの方々と知り合い、その人と人とのつながりから様々な経験をさせてもらったと思います。今後とも協会会員の皆様とは、引き続き親しくお付き合い頂けたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。

監事 渡辺謙



この度、監事を務めることになりました渡辺 謙です。よろしくお願ひします。年齢だけは人に負けていませんが。診断士協会の活動には疎遠でした。せめて最後のご奉公のつもりで取り組んでまいります。

診断士協会を取り巻く環境も社会環境同様、アフターコロナ、少子超高齢化。DX・AIと急激な速度で変化しています。このような環境の中で中小企業診断士が果たすべき役割も変化しています。当協会も大きな変化に対応すべく新たな取り組みが始まっています。取り組みの中核となる理事や委員会の皆様の活動を裏方として少しでも支援できればと思っています。また、その結果が会員の皆様の活動に反映できるよう取り組みます。

研究会紹介

企業再生支援研究会

代表 上村修



昨年度に引き続き、企業再生支援研究会の代表に就任しました上村修です。当研究会の代表に就任して今年度で通算6年目となりますが、頑張っ
て活動していきたいと考えております。

昨年度は、研究会を計2回開催しました。内容的には、会員講師による研究会を1回(昨年7月)、外部講師による研究会を1回(本年2月)開催しました。

いずれも、研究会後に懇親会を開催し、講師や会員同士の交流を深めることができました(大いに盛り上がりました)。

今年度も計2回研究会の開催を予定しています。第1回目は、7月中の開催を予定しており、支援機関(新潟県信用保証協会様)からの講演と懇親会の開催を予定しております。

第2回目(来年2月頃開催予定)は、外部講師による研究会、懇親会を開催する予定となっております。

また、理論政策更新研修会(第2回・長岡会場、9月7日開催)の企画運営を当研究会が受託することになりました。研修テーマは「中小企業の事業再構築支援」となっており、参加者の皆様に少しでも役立つ研修とするために現在準備を進めています。

今年度も、多くの方々からの積極的なご参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

事業承継・中小M&A研究会

代表 土田正憲

当研究会は、事業承継支援における中小企業診断士のコンサルティングスキルの向上と職域の拡大を目指すことを目的として平成25年に設立されました。

昨年度は2回の研究会と「後継者育成」をテーマにした理論政策更新研修を開催しました。また、中小企業基盤整備機構関東本部ならびに新潟県事業承継・引継ぎ支援センターのご協力のもと、全5回の講義による「事業承継支援専門家研修」を開催しました。さらに、新潟県事業承継・引継ぎ支援センターと中小PMI支援について連携体制を構築しました。



令和6年は以下の方針のもと活動してまいります。また、幹事を増員して運営の円滑化を図ります。ご興味のある方は、どうぞご入会ください。

○活動方針

研究会会員(以下、「会員」という。)と外部講師による勉強会を開催し、事業承継(中小M&Aを含む)支援に関する知識と技術等について学び、コンサルティングスキルの向上と職域の拡大を図る。

○活動予定

1. 研究会の開催

令和6年7月、令和7年2月に開催予定。

2. 会員拡大

継続的に会員拡大に取り組む。

実務従事ポイント研究会

代表 田邊直樹

日頃より実務従事ポイント研究会の活動にご賛同いただき、誠にありがとうございます。

昨年度から、平野康晴先生より、代表を引き継ぎ当研究会の代表となりました。よろしくお願いたします。当研究会は、実務従事ポイントの獲得方法を研究すると同時に、研究会会員が実務従事ポイントを獲得することを目的としています。主な活動は、会員及び指導員によるグループコンサルティングを通じて、更新ポイントの獲得や実践的なコンサルティング手法を学ぶ機会を提供しています。

昨年度は、新潟市内の美容室を対象に、会員4名が診断報告書の作成を行いました。参加者からは、「市場分析のアプローチを学べた」「事業調査報告書の書き方を学べた」「RFM分析を理解できた」といった感想を頂いています。

今年度は、研究会の主目的である実務従事ポイントの獲得方法に関する研究とあるように、新たな活動というのも会員の皆様からアイデア募りたいと考えています。

協会新規入会者も増えてまいりました。まだ加入されていない方々におかれましては、この機会にぜひ研究会への参加をご検討ください。また、診断対象となる企業の情報も引き続き募集しております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

青年部会

会長 長谷川貴一

昨年に引き続き青年部会の会長を担当させていただきます長谷川貴一です。本年度もどうぞよろしくお願いたします。

青年部会では、会員相互の交流や情報交換を目的に活動しており、協会に入会された新入会員の方や入会して年数が若い方が多く参加して様々な交流会や会合、情報交換の機会を提供しています。また、外部団体である新潟県中小企業青年中央会に所属しており、多業種の組合青年部と交流、連携する機会も多く連携事業や交流会等に参加しています。本年度もおよそ20名から30名ほどの青年部会メンバーにより活動を行っていく予定です。

2018年に青年部会の会長を始めてお受けしてから6年ほど経過しました。協会に入会されたばかりの人が協会活動を知って、委員会活動等への参加推進をしていくことを目的に、入会直後の方との交流会、懇親会を開いてきました。また、会長を受けた当初は多団体と連携する活動は行っていませんでしたが、今や交流会の他、多団体との連携や調査研究等、様々な活動をするようになりました。多団体と連携する中で、青年部会メンバーの新たな刺激になり、学びや成長の機会にも繋がっています。また、協力して事業を進めていくことが青年部会メンバー間のより良い交流になっています。一方で、事業に参加する時はそれなりに労力や時間も掛かりますので、参加できる人は限られてきます。また、参加していない人にとっては今のようなことをやっているかわかりにくいです。多く参加できる人もそうでない人もどちらも青年部会に参加しやすいようにしていくため、適切な情報共有や参加方法の工夫、懇親会等で参加しやすい機会の提供を本年度も心掛けていきたいと思ひます。と今後も積極的に活動をしていきたいと思ひます。

一年間どうぞよろしくお願いたします。

診断士になりたい人を支援する会

代表 土田克則

中小企業診断士を目指している人は、孤独に勉強しているのではないかとモチベーションを維持することが難しいのではないかと2次試験の解答がないので、勉強の仕方が分からないのではないかとなど勝手に心配して、「診断士になりたい人を支援する会」は活動しております。

会の設立当初は、協会主催で1次試験対策講座が開催されていたこともあり、「2次試験問題の解き方を研究する会」と「情報交換会」を開催しておりましたが、一昨年からは協会主催で、「中小企業診断士を目指す人の情報交換サロン」が開催されているので、「情報交換会」を開催する理由もなくなっていました。当面は、「2次試験問題の解き方を研究する会」のみの開催になります。

支援する現役診断士と受験生が過去問を解きながら、合格レベルの解答はこんな感じではないかと議論するというのが会なのですが、大体、最後の方は、その都市伝説は本当か？キーワードを沢山入れた方が点数は上がるのか？与件文と設問のどちらを先に読むか？ペンは何色使うか？やっぱり、「ふぞろい」がいいのか？という話をしています。

会を設立した当初は、支援する側の診断士が大勢いました。最近、ちょっと減ってきて



困っております。この同好会の実態は、飲み会を開くための口実みたいな会なので、是非、気軽にご参加いただければと思います。

ご興味のある方は、私までご連絡ください。また、診断士を目指している人に、この会の存在を広めていただけますようお願いいたします。

1次試験終了後、8月9日に開催する予定です。

○連絡先

診断士になりたい人を支援する会代表 土田克則

k-tsuchida@smec-c.jp

090-2739-9863

クリップボード

- ◆令和6年8月24日(土)
第1回 理論政策更新研修
新潟グランドホテル
- ◆令和6年9月7日(土)
第2回 理論政策更新研修
アトリウム長岡
- ◆令和6年11月8日(金)
中小企業診断士の日のイベント
朱鷺メッセ
- ◆令和7年1月25日(土)
新春講演会・新年会
新潟グランドホテル

編集後記

広報委員会 市川明弘

『SOUP LETTER 第33号』をお手に取っていただきありがとうございます。今回のSOUP LETTERでは、令和6年度からの理事・監事のメンバーや現在の研究会等の紹介をさせていただきました。

当協会は、多彩な分野で活動する会員が、それぞれの専門知識や経験を活かし、地域経済の発展に尽力しています。その多様性が、私たちの協会の強みであり、誇りでもあります。本号の理事・監事、研究会等の紹介を通じて、その多様性の一端を少しでもお伝えできていれば幸いです。

今年度は広報誌のリニューアルも検討しております。より魅力的なコンテンツをお届けできるよう広報委員一同力を合わせて頑張りますので、新たな広報誌の誕生に御期待ください。

最後になりますが、『SOUP LETTER 第33号』を制作するにあたり御協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。